令和4年3月作成

美波町 高潮ハザードマップ

災害はいつどこで発生するかわかりません。これまで台風などによる高潮被害が繰り返し発生してきました。今後の被害を防ぎ、最小限にするために日頃からできる対策があります。
「美波町高潮ハザードマップ」は、徳島県が令和2年9月1日に指定した徳島県高潮浸水想定区域図において想定される最大規模の浸水の範囲や深さ、避難場所、避難の心得などを掲載しています。
本マップを活用し、防災に関する情報の入手や避難方法の確認など、事前に準備を行いましょう。

緊急連絡先

警察（事件・事故）	消防（火事・救急）	海上保安部（海の事故）
110	119	118

- 美波町役場　☎0884-77-1111
- 美波町由岐支所　☎0884-78-1111
- 徳島県南部総合県民局 県土整備部（美波庁舎）　☎0884-74-7411
- 牟岐警察署　☎0884-72-0110
  - 桜町交番　☎0884-77-0049
  - 由岐駐在所　☎0884-78-0162
- 海部消防組合 日和佐出張所　☎0884-77-0999

家族の連絡先	名　前	生年月日	血液型	電話番号	会社・学校等連絡先

親戚・知人の連絡先	名　前	住　所	連 絡 先

災害用伝言サービス

災害用伝言ダイヤル（固定電話・携帯電話）

災害発生時に、電話を利用して安否情報を録音・確認できる「**声の伝言板**」です。
※回線の混雑などにより、電話がつながりにくい場合があります。

1 7 1 にダイヤル
↓ 音声ガイダンスによるご案内
1 を押す ／ 2 を押す
↓ 音声ガイダンスによるご案内
自分の電話番号を市外局番から入力 ／ 安否を確認したい相手の電話番号を市外局番から入力
↓ 音声ガイダンスによるご案内
伝言を**録音**する（録音時間：1伝言あたり30秒以内） ／ 伝言を**再生**する

web171

インターネットに接続できるパソコン・携帯電話・スマートフォンなどで「web171」を利用することができます。

https://www.web171.jp

画面の案内によりご利用ください。

災害用伝言板（携帯電話・スマートフォン）

災害発生時に、インターネットを利用して安否情報を登録・確認できる「**文字の伝言板**」です。

各社 Web サイトまたはアプリ画面から「災害用伝言板」を選ぶ
↓
「**登録**」を選ぶ ／ 「**確認**」を選ぶ
↓
メッセージ項目を選ぶ
コメント（全角 100 文字まで）も入力できます ／ 安否を確認したい相手の電話番号を市外局番から入力
↓
「**登録**」を選ぶ ／ 「**検索**」を選ぶ
↓
登録完了 ／ 検索結果が表示

注：Webサイト・アプリによって操作方法が異なります。
　　詳しくは各社の利用案内をご確認ください。

他のハザードマップ

美波町では、「高潮ハザードマップ」の他に、「津波避難マップ」（平成31年3月）、「日和佐川洪水ハザードマップ」（令和3年3月）、「土砂災害ハザードマップ」（令和3年3月）を作成しています。
身の回りで想定される災害の種類に応じて各マップをご確認ください。
各マップは、美波町ホームページ等より閲覧・入手することができます。

津波避難マップ
（平成31年3月）

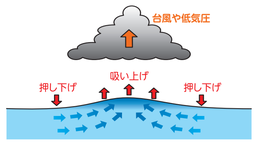
日和佐川洪水ハザードマップ
（令和3年3月）

土砂災害ハザードマップ
（令和3年3月）

高潮発生のメカニズム

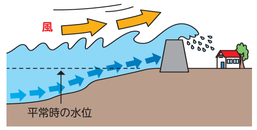
高潮とは、台風や発達した低気圧に伴って海岸で海面が異常に高くなる現象です。
高潮が発生すると海水が堤防を越えてしまったり、台風によって発生した高い波により土地が浸水する可能性が高くなり、とても危険です。
高潮発生の主な要因としては、以下の2つを挙げることができます。また、高潮による海面上昇は、海底地形や海岸形状により大きく異なります。

気圧の低下による吸い上げ



台風や低気圧の中心では気圧が周辺より低いため、気圧の高い周辺の空気は海水を押し下げ、中心付近の空気が海水を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。
気圧が1hPa（ヘクトパスカル）下がると、海面は約1cm上昇すると言われています。

風による吹き寄せ



台風や低気圧に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹くと、海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が上昇します。
潮位の上昇は風速の2乗に比例し、風速が2倍になれば海面上昇は4倍になります。

高潮災害の危険性が高い場所

海岸付近の低地
海の近くにある低地（海抜ゼロメートル地帯）などは、高潮による被災の可能性が高いエリアです。

急に深くなる海底地形
急に海底が深くなる海岸部では、吹き寄せにより陸地直前で急速に潮位が高くなる場合があります。

湾の奥部
強風による吹き寄せで陸地側に集められた海水は、湾が狭まるにつれて集中し、潮位の高さを助長してしまいます。

河口のまわり
河口などが集中している地域は、高潮の被害と同時に河川からの洪水が重なる危険性が高いため、被害としては大きなものになってしまう可能性があります。

気象情報と避難情報

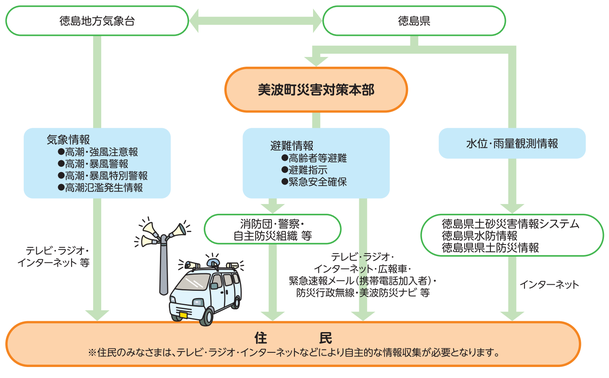
気象状況	警戒レベルに相当する気象情報など		警戒レベル	避難情報	状況	住民がとるべき行動
	予告的な気象情報		1		今後の気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める
台風最接近の1日～半日前	高潮注意報	※3 暴風警報に切り替える可能性が高い 強風注意報	2		気象状況悪化	自らの避難行動を確認
	高潮警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報		3 ※2	高齢者等避難	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難
暴風雨域に入る数時間前 / 暴風雨域に入る / 台風最接近の数時間前 / 台風最接近 高潮となる	高潮警報 または 高潮特別警報	暴風警報 ※3 または 暴風特別警報	4	避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難
	＜警戒レベル４までに必ず避難！＞					
高潮による浸水が発生	高潮氾濫発生情報（阿波由岐潮位 T.P.+1.8m到達）		5 ※1	緊急安全確保	災害発生または切迫	命の危険　直ちに安全確保！

※1　市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル５は必ず発令されるものではありません。
※2　警戒レベル３は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。
※3　暴風警報や強風注意報は警戒レベル相当情報ではありませんが、暴風が吹き始める前に避難を完了しておくことが重要です。

注：突発的な災害の場合、美波町からの避難指示等の発令が間に合わないこともあるため、自ら警戒レベル相当情報等を確認し避難の必要性を判断するとともに、身の危険を感じたら迷わず自発的に避難しましょう。

警報等の種類	内　容
高潮注意報	台風や低気圧等による異常な潮位上昇により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
強風注意報	強風により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
高潮警報	台風や低気圧等による異常な潮位上昇により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
暴風警報	暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
高潮特別警報	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合に発表します。
暴風特別警報	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合に発表します。
高潮氾濫発生情報	基準水位観測所で高潮特別警戒水位（阿波由岐潮位T.P.+1.8m）に到達したときに発表します。

情報の伝達経路

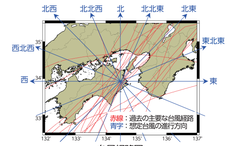


想定される高潮

高潮浸水シミュレーション

- 既往最大規模の台風を想定
  （中心気圧：室戸台風相当、半径・移動速度：伊勢湾台風相当）
- 最大規模の高潮となるような台風経路を設定
  （右図の9方向、77経路）
- 高潮と同時に河川での洪水を考慮（計画規模※）
- 堤防等は設計条件を超えた段階で決壊を見込む

※計画規模：洪水防御の計画上基本としている50年に一度の割合で発生する降雨を想定



台風経路図

高潮浸水想定区域図［想定最大規模］（浸水区域及び浸水深、浸水継続時間）

- 作　成　主　体：徳島県
- 指　定　年　月　日：令和2年9月1日
- 告　示　番　号：徳島県告示第547号
- 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）
  第14条の3第1項（浸水区域及び浸水深）、第14条の3第2項（浸水継続時間）
- 指定の前提となる高潮：中心気圧900hPa、最大旋衡風速半径75km、移動速度73km/hの台風による高潮

（1）高潮浸水想定区域図は、複数の経路で高潮浸水シミュレーションを実施し、水防法第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合の浸水区域及び浸水深、最長の浸水継続時間を表示しています。
（2）台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、洪水予報河川や水位周知河川等では、計画規模の降雨の洪水が同時に発生した場合を想定しています。
（3）基準とする潮位（朔望平均満潮位＋異常潮位）に台風の影響による潮位上昇を加えて浸水を想定しています。浸水継続時間では、台風通過後は、潮位が通常の天文潮で時間変化するものとして排水時間を想定しています。
（4）高潮浸水想定区域図では、高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、想定していない雨水出水（内水）などにより、浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合があります。
（5）現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。

過去の主な高潮被害

美波町では、昭和9年9月21日の室戸台風により、多くの被害を受けました。

- 旧日和佐町の被害
  家屋の全壊：9戸、半壊：14戸、
  床上浸水：9戸、破損：1,500 戸
  船舶の流失全壊：28隻、破損：130隻
  「日和佐町史」より
- 旧由岐町の被害
  家屋の流失全壊：13戸
  船舶の流失全壊：123隻
  学校の全壊：2校
  「由岐町史」より

主な高潮災害における徳島県の被害

年　月　日	主な原因	最高潮位（T.P.*m）	最大偏差（m）	死者・行方不明（人）	全壊・半壊（戸）
大正 6年10月 1日	台風	–	–	–	–
昭和 2年 9月13日	台風	–	–	–	–
昭和 9年 9月21日	室戸台風	–	–	39	2,256
昭和17年 8月27日	台風	–	–	–	–
昭和20年 9月17日	枕崎台風	–	–	47	2,583
昭和25年 9月 3日	ジェーン台風	–	–	38	2,674
昭和26年10月14日	ルース台風	–	–	10	1,743
昭和28年 9月25日	台風13号	–	–	1	91
昭和34年 9月26日	伊勢湾台風	0.93	0.53	5	63
昭和36年 9月16日	第2室戸台風	2.42	1.80	11	2,399
昭和45年 8月21日	台風10号	1.21	0.55	8	66
昭和60年 8月30日	台風13号	0.83	0.04	–	–
平成11年 9月24日	台風18号	1.06	0.31	–	–
平成16年 8月30日	台風16号	1.66	0.72	–	9
平成16年10月20日	台風23号	1.55	1.13	3	239
平成30年 9月 4日	台風21号	1.68	1.22	–	2

※T.P.：東京湾の平均海面からの高さをいい、一般に標高と呼ばれています。
注）死者・行方不明者、全壊・半壊は、高潮以外の事象によるもの（水害等）も含む。
出典：「高潮浸水想定区域図について（解説書）　徳島県　令和2年1月28日」より

防災情報の取得

防災情報は、テレビ・ラジオ・防災行政無線のほか、インターネットなどからも確認することができます。自ら情報を収集し、危険を感じたときには自主的に避難しましょう。
※テレビのリモコンで「dボタン」を押すと防災に関する情報を確認できます。

- **美波町防災ナビ**
  美波町の防災・減災に特化した町の公式アプリです。（スマートフォン専用）
  美波町ホームページで詳細をご確認下さい。
  ※スマートフォンにアプリを事前にインストールして準備して下さい。
  https://www.town.minami.lg.jp/docs/875707.html
- **徳島県土砂災害情報システム**
  気象情報・雨量分布・土砂災害危険度情報などが確認できます。
  https://www.sabo.pref.tokushima.lg.jp
- **徳島県県土防災情報**
  道路規制情報などが確認できます。
  https://bousai.pref.tokushima.lg.jp/map
- **徳島県水防情報**
  河川水位情報・ダム情報などが確認できます。
  https://www.kasen.pref.tokushima.lg.jp
- **すだちくんメール**
  気象情報や安否確認などをメールでお知らせするサービスです。
  ※サービスの利用には事前登録が必要です。
  　安否情報は登録したグループ間で確認できます。
  https://s.ourtokushima.jp

事前の備え

ハザードマップを確認

いざというときのためにハザードマップを活用して、安否確認の方法、避難先（指定緊急避難場所及び安全な親戚・知人宅など）や安全な避難経路を確認し、家族等で話し合って決めておきましょう。

非常用持出品の準備

避難するときに持ち出す「非常用持出品」を事前に準備して、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。
乳幼児や高齢者等がいる場合は必要な物が異なるため、家族構成に合わせた準備が必要です。
また、非常用持出品を定期的に点検し、古い物は交換しましょう。（ローリングストックの活用）
※ローリングストック：非常食や日常の加工食品を定期的に飲食し、使用した分を補充するという備蓄方法

いつもケータイ！ 0次の備え
いつも携帯できそうなものは、いつも使うバッグやポケットに入れておきましょう。

- 飲料水500㎖
- ホイッスル
- 帽子
- ミニライト
- 携帯ラジオ
- 携帯電話・スマートフォン
- 財布
- ばんそうこう
- 持病薬
- ハンカチ(大判)
- 手ぬぐい

非常持ち出し袋 1次の備え
サッと持ち出して逃げられるコンパクトなリュックを1つ。逃げる時にこれだけは持っていたいという最低限の備え。

- 飲料水1.5ℓ/人・日程度
- 乾パン
- 予備バッテリー・充電器（携帯電話・スマートフォン用）
- 運転免許証（コピー）
- 保険証（コピー）
- メモ帳、筆記用具
- 緊急連絡先
- マスク
- ポンチョ
- 雨具
- 使い捨てカイロ
- 安全ピン

安心ストック 数日にわたる避難や2次の備え
ライフラインが途絶え、助けが届かなくても何日かは自給自足できる物品を、地域で協力して高台の防災倉庫等に保管。

- 飲料水3ℓ/人・日 程度
- アルファ米
- インスタント食品
- 缶詰、缶切り
- 飴・チョコレート
- 栄養補給食品　等
- 防災ずきん
- ヘルメット
- 作業用手袋
- 運動着
- ハサミ、ナイフ
- ロープ(救助・避難用)
- 発電・充電式懐中電灯
- スピーカー付ラジオ
- 乾電池
- 公衆電話用10円硬貨
- 現金
- 消毒薬
- 脱脂綿
- ガーゼ・包帯
- 三角巾　等
- とげ抜き
- 常備薬
- お薬手帳(コピー)
- 歯磨きセット
- ポンチョ
- 雨具
- 使い捨てカイロ
- 安全ピン
- サバイバルブランケット（簡易防寒具）
- タオル、ライター
- 布ガムテープ
- 下着、衣類
- レジャーシート
- ブルーシート
- 新聞紙
- 鍋
- カセットコンロ
- ボンベ、工具
- 石けん
- 体温計
- 毛布
- パスタオル
- 段ボール

簡易トイレ、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、ポリ袋（数種サイズ）

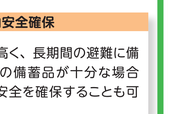
感染症対策として、マスク・消毒薬などの衛生品も持参できるように準備しておきましょう。

注：浸水の継続や孤立した場合を考慮し、避難の長期化に対応した備えをしておきましょう。

地域の防災活動

避難行動や災害時の初動などを適切に行うには、日頃の訓練が欠かせません。
地域で協力し合いながら危険箇所や避難時に支援が必要な人の把握などの災害対策を行い、防災訓練などの自主防災活動に参加しましょう。
防災訓練は、安全な避難方法や救急方法の取得ができる場です。積極的に参加し、安全な避難行動の練習を行っておきましょう。

確認事項の例
・避難場所　・避難経路　・危険箇所　・非常持出品　・連絡先　など



避難について

台風や発達した低気圧により高潮が発生しそうな場合、浸水する前に避難することがとても重要となります。正確な情報収集を行い、状況に合わせた安全な方法で早めに避難しましょう。

正確な情報収集

テレビ、ラジオなどで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意し、正しい情報を収集しましょう。

危険箇所を避けて

海沿いでは海水が濁流となって押し寄せ、堤防を越え家屋の浸水、船舶の損傷などが起きる場合があります。また、アンダーパスなどは非常に危険な場所となる場合があるので、通行を避けて避難しましょう。

動きやすい服装

両手が使えるように、持ち物はリュックに入れて背負いましょう。また、長靴は中に水が溜まると動きにくくなるため、ひも付き運動靴で避難しましょう。

複数人で避難

1人で避難すると、事故にあったときに助けてくれる人がいない場合があります。
2人以上での行動を心がけましょう。

長時間の避難への対策

避難が長時間になることへの対策も心がけましょう。

早期避難

最上階が浸水するおそれのある家屋にお住まいの方は、早めに安全な場所に立退き避難しましょう。

基本は徒歩

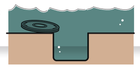
車での避難は渋滞が発生し緊急車両通行の妨げや、車ごと流されたりする危険性があります。
できるだけ徒歩で避難しましょう。

流速に注意

浸水時に歩ける深さはひざの高さ程度までですが、流速がある場合は20㎝位の深さでも危険です。逃げ遅れないよう早めに避難しましょう。

足下に注意

浸水時は水が濁っており、足下が見えにくい場合があります。やむを得ず水の中を移動するときは、フタの外れたマンホールや側溝などに落ちないよう、棒などで足下を確認しながら移動しましょう。



屋内安全確保

浸水深より居室が高く、長期間の避難に備えた水・食料などの備蓄品が十分な場合は、自宅に留まり安全を確保することも可能です。